

## 第 21 回奈良市文化振興計画推進委員会 会議録

開催日時	平成 28 年 11 月 29 日（火）午後 2 時から午後 3 時半まで	
開催場所	奈良市役所北棟 6 階 第 18 会議室	
議題	1 開会 2 会長挨拶 3 現況報告 ・東アジア文化都市について ・第 32 回国民文化祭・なら 2017、第 17 回全国障害者芸術・文化祭奈良大会について 4 文化振興計画事業評価について 5 その他	
出席者	委員	萩原副会長、倉橋委員、中野委員、村内委員、山下里加委員、山下恭委員 【計 6 人出席】
	事務局	澤野井市民活動部長、松田市民活動部次長、柴田文化振興課長、槇田東アジア文化都市推進課長、林主幹、植松課長補佐、森田主任、土井主任、一柳（以上文化振興課）
開催形態	公開（傍聴人 6 人）	
決定事項	●文化振興計画事業評価シートについて、基準があいまいであるので、統一的な基準を作成する。 ●次回の委員会の開催日時については、後日改めて調整する。 ●今回の会議録の署名は、萩原副会長と山下里加委員が行う。	
担当課	市民活動部文化振興課	

### 議事の内容

<p>1 開会</p> <p>事務局より平成 28 年 10 月 5 日付け人事異動について報告し、本日の会議の成立について説明した。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>開会にあたって萩原副会長から挨拶。本日の署名委員は萩原副会長と山下里加委員であることを確認した。</p> <p>3 現況報告</p> <p>下記項目について、事務局より説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東アジア文化都市 2016 奈良市」開催について（コア期間の事業を中心とする内容・現状報告・今後の予定）</li> <li>・第 32 回国民文化祭・なら 2017、第 17 回全国障害者芸術・文化祭奈良大会について（開催概要・事業構成・実施計画について・奈良市プレイベントの開催について）</li> </ul> <p>東アジア文化都市開催について、コア期間を中心とする事業の内容について報告し、クロージングイベントや事業終了後の概要の説明を行った。</p> <p>第 32 回国民文化祭・なら 2017、第 17 回全国障害者芸術・文化祭奈良大会について、事業の概要を説明すると共に、奈良市の役割や現状、今後の展望について報告した。</p>
---

委員からの意見は次のとおり

- ・東アジア文化都市を今年度単発の事業として終了するのではなく、小さな形でも良いので継続させていくべき。
- ・東アジア文化都市と来年度の国民文化祭との何らかの連携はないのか。

#### 4 文化振興計画事業評価について

文化振興計画事業評価について、文化振興課所管の事業及び施設の事業について作成した事業評価シートを提示し、説明を行った。施設側の不慣れに加えて、目標値の設定がなされていない事業や、協働の意識付けがなされていない事業があることにより、評価シートとしては不十分な結果になっているものもあることを報告した。

委員からの意見等は下記のとおり

- ・広報面において、事業者自身、市全体がそれぞれ何をしていくべきかをこのシートからどう抽出していくかがこれからの仕事。
- ・広報の評価については、新聞記事やしみんだよりの記事といった広報実績のスクラップがついていると良いのでは。
- ・施設ごとに評価の基準の付け方やシートに対する姿勢が異なっているように思える。統一的な評価基準やシートの目的意識の徹底が必要。
- ・評価シートに回答している団体には、他の回答も見てほしい。施設間のより強固なネットワーク構築に繋がっていくし、そのネットワークは重要なものになる。

#### 5 その他

事務局より、「ならシネマテーク」への補助金支出についての理論構築を議題として提案。なら国際映画祭実行委員長でもある中野委員より「ならシネマテーク」の概要、背景の説明をいただいた。

委員からの意見等は下記のとおり

- ・単なる映写会ではなく、街づくり、福祉、施設の活性化といった多様な物事を文化の力を使って行っているということを強く押し出す必要がある。
- ・子どもを巻き込むことが重要。将来の奈良につながる。
- ・市民参画を全面的に押し出すのも大きな方向性の1つ。市としても補助金以外の関わり方があるのでは。
- ・シネマテークという独特な事業を、行政が後押ししているケースは非常に珍しいのでは。奈良市の取り組みとしてユニークなものだと発信していくと、奈良市の独自性としてアピール出来るのでは。

その他意見として、奈良市には西側に多くの方が住んでいるが、イベントは東側が多い。西側の人たちを巻き込むことをもっと考えていくべきとの提言あり。

次回の会議の開催日程については後日調整する。